

甲南大学日本語教室あおぞら

ぶんたすプロジェクト ③



秋期：
(10月～12/8まで)
毎週木曜日の夕方
教室 開講中

あおぞらで
協働実践

日本語教員養成課程で
理論を学習

外国人の日本語学習支援で自らも学ぶ

甲南大学のある神戸市は国際化した都市で、多くの外国人が生活しています。甲南大学日本語教室あおぞらは、地域に住む外国人が日本語を学ぶのを手助けする学生ボランティア組織として、2004年に始まりました。文学部日本語日本文学科には日本語教員養成課程があり、全学部から日本語教育に興味を持つ学生が集まります。日本語を学びに来る人々もさまざま、日本人と結婚した外国人や日本で働くビジネスパーソン、留学生など、それぞれの目的を持って日本に滞在している人たちです。あおぞらでの日本語学習支援は、外国人が日本での生活をより自分らしく送れるようになることを目指しています。支援する学生ボランティアも、多様な言語文化に触れることで視野が広がり、授業で学んだ理論が実践と往還する学びが得られます。あおぞらは、外国人と学生が互いに効果的な日本語コミュニケーションの仕方を学ぶ場となっています。



POINT

- ① 授業で学んだ理論が実践に結びつく
- ② 海外の人々と日本語で交流できる
- ③ コミュニケーションの仕方を学ぶ



さらに詳しい情報は[コチラ](#)から

